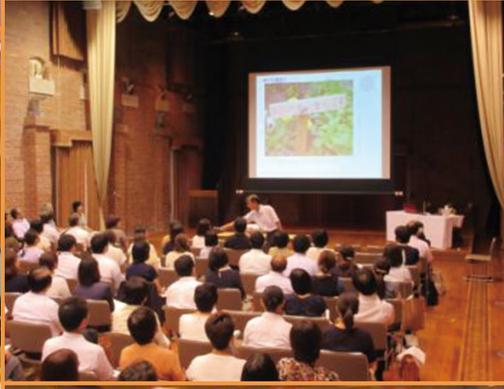




平成28年度 乳幼児教育ビジョン推進事業 報告書



目次

平成28年度 乳幼児教育ビジョン推進事業

はじめに 2

文部科学省「幼児教育の推進体制構築事業」 3

講師と研修内容 4

講師のことは

神戸大学大学院 北野 幸子 准教授 5

鳴門教育大学大学院 木下 光二 教授 6

兵庫教育大学大学院 溝邊 和成 教授 7

舞鶴市の現状、教育振興大綱 8

乳幼児教育ビジョン 9

事業の目的と主な内容 10

体制 11

〈研究内容1〉

乳幼児教育の質向上に必要な推進体制 12

(1) 乳幼児教育センター 12

(2) 乳幼児教育コーディネーター、相談員 13

(3) 文部科学省調査研究受託期間の全体計画 13

〈研究内容2：研修方法〉

【子どもを主体とした保育研修】 14

【保幼小連携、保幼小中連携、保幼小接続カリキュラム】 15

〈実施内容〉

平成28年度事業一覧 16

平成28年度 報告会

1. 乳幼児教育ビジョン推進事業 報告 24

2. 子どもを主体とした保育（プロジェクト型保育）報告 26

●舞鶴幼稚園 26

●朝来幼稚園 27

●うみべのもり保育所 28

●タンポポハウス 29

●さくら保育園 31

3. 保幼小連携 報告 34

●中舞鶴小学校 35

●中保育所 36

●中舞鶴幼稚園 36

4. 保幼小接続カリキュラム策定会議 報告 37

5. 子どもを主体とした保育：ドキュメンテーション・記録 報告 40

各園のドキュメンテーション 41

6. 講演 42

「乳幼児教育の質向上のための園内研修の方法
～ドキュメンテーションを活用して～」
神戸大学大学院 北野 幸子 先生

講演資料 44

その他 47

講演 47

「次期教育要領・学習指導要領等から考えるこれからの教育
—主体的・対話的で深い学び—」
文部科学省 初等中等教育局 視学官 田村 学 氏

対談 48

「主体性を育む保幼小中の連携・接続」
舞鶴市保幼小接続カリキュラム策定会議 会長
兵庫教育大学大学院 教授 溝邊 和成 氏
文部科学省 初等中等教育局 視学官 田村 学 氏

成果：推進体制、公開保育【公開園聞き取り調査より】 50

(1) 公開保育までの取り組み 50

(2) 公開保育前と後の変化 51

(3) 公開保育を受けて良かったと感じたこと、
良くなかったと感じたこと 53

(4) 公開保育を実施するにあたっての乳幼児教育コーディネーターや
事務局（センター）のバックアップの体制や方法について 54

(5) その他 55

成果：研修方法【報告会参加者アンケートより】 55

(1) 公開保育・授業の有効性 55

(2) 保幼小連携、保幼小中連携 56

(3) 報告会の効果 56

(4) 園内研修の重要性 58

(5) 研修の参加状況 59

(6) 研修の効果 59

成果：研修方法【保護者アンケートより】 63

保護者の声 63

今後の検討課題：研修方法【報告会参加者アンケートより】 64

今後の研修について 64

今後の検討課題：推進体制 66

乳幼児教育センター 66

乳幼児教育コーディネーター 66

乳幼児教育ビジョン〈基本理念〉 67

平成28年度 公開園・校指導案

子どもを主体とした保育 公開園

●舞鶴幼稚園 70

●朝来幼稚園 76

●うみべのもり保育所 82

●タンポポハウス 94

●さくら保育園 105

保幼小連携 合同授業・公開園・校【中舞鶴】 120

ブロック公開 123

「学びと育ちをつなげる連携教育
～遊び込みから学び込みへ 記録と発信の重要性～」
鳴門教育大学大学院 木下 光二 教授

ブロック公開園・校 124

研修参加・ドキュメンテーション実施園

●永福保育園 126

●岡田保育園 128

●さくら保育園 130

●平保育園 132

●タンポポハウス 134

●なかすじ保育所 136

●東山保育園 138

●八雲保育園 140

●やまもも保育園 142

●ルンビニ保育園 144

●うみべのもり保育所 146

●中保育所 148

●西乳児保育所 150

●舞鶴幼稚園 152

研修事業紹介記事

「発達」第146号 155

「保育ナビ」5月号 162

「ぜんほきょう」No.285 164

「保育士の質の向上をめざして」八雲保育園 165

「ぜんほきょう」No.283 175

「遊育 U-iku」No.4 176

「舞鶴市民新聞」 177

「京都新聞」 177

「広報まいづる」vol.964 178

「広報まいづる」vol.970 179

ニュースレター

第1号 186

第2号 188

第3号 192

第4号 195

第5号 199

第6号 202

第7号 206

第8号 209

第9号 212

はじめに

平成27年度「量」と「質」の両面から子育てを社会全体で支える「子ども・子育て支援新制度」が始まりました。実施にあたっては、最も身近な市町村が中心となって進めることとされ、本市においてもニーズ等を調査し、「子どもの笑顔と子育ての喜びがあふれるまちづくり」を目指し策定した「夢・未来・希望輝く『舞鶴っ子』育成プラン」を元に施策に取り組んでいます。

少子化が進み待機児童が生じていない本市では、「生涯にわたる人格形成の基礎を培う乳幼児期」の大切さ、そしてその時期の子どもや保護者と密接に関わり、その成長に寄与する「保育者・教員」の重要性に注目し、舞鶴市全体としての「質」の充実及びさらなる向上を目指すこととしました。

平成27年度には「0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育の充実」を基本理念とする「舞鶴市教育振興大綱」を策定し、さらに乳幼児期の育ち・学びの特性を踏まえ、「乳幼児期の終わりまでに育ってほしい子どもの姿」や「乳幼児期に大切にしたいこと」を、保護者と共に市民全体で共有し、家庭・地域・保育所・幼稚園・学校・行政等それぞれの役割を認識したうえで、連携しながら取り組みを進めていくため「主体性を育む乳幼児教育の推進～みんなでつながり育む舞鶴の子ども～」を基本理念とする「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」を策定しました。

この策定にあたっては、市民や各団体等の代表による懇話会と、各保育所・幼稚園・小学校・中学校の保育者・教員による作業部会とを構成し、広く意見をお聴きする機会を持ち、まさにみんなでつながり舞鶴の子どもをどう育むかについて熱く議論が交わされました。

平成28年度におきましては、皆さんの熱い思いが詰まったこのビジョンを推進するため、教育委員会が所管していた幼児教育に関する事務を市長部局の健康・子ども部に移管し、幼稚園・保育所課を設け、就学前における施設の利用窓口の一本化を図ると共に、乳幼児教育推進係を設け、質の高い乳幼児教育の提供に向け、教育委員会と連携を図りながら「乳幼児教育ビジョン推進事業」を実施することとしました。

これまでから実施しています公私立・園校種を越え共に学ぶ研修事業をはじめ、乳幼児教育ビジョンの内容について広く市民の皆さまにお知らせするなど、各園・校の取り組みを応援し、みんなでつながり育む環境づくりを行いました。

また、ビジョンの中で、質の高い乳幼児教育の推進に向けた行政の役割について「市には、関係者の連携の機会の提供等、各分野をつなぐコーディネート機能が求められています。さらに、全市的な研究・研修の実施、情報発信等、保育所や幼稚園、学校等、個々では難しい取り組みを実施し、各園・校が行っておられる活動をサポートする機能も求められています。市には、こうしたコーディネートやサポートを行う乳幼児教育のセンターとしての役割があります。」としており、乳幼児教育ビジョン推進事業の実施を通して、乳幼児教育センターの機能や乳幼児教育コーディネーターの役割等について研究することとしました。

こうした動きは、文部科学省が進めている「幼児教育の推進体制構築事業」と合致する内容であったことから、本市の乳幼児教育ビジョン推進事業は、平成28年度から3年間のモデル事業に採択されました。

事業の実施及び調査研究にあたっては、舞鶴保育園長会、舞鶴市民間保育園連盟、舞鶴市私立幼稚園協会、舞鶴市小学校長会、舞鶴市中学校長会、子育て団体、市民の皆さまにご協力いただき、意見をいただきながら進めております。また研修におきましては、複数の保育所・幼稚園・小学校に公開をしていただきました。大変お忙しい中、また全国的に保育者の人員不足が叫ばれる中、ご参画いただきました皆さま方に厚くお礼申し上げます。

また、神戸大学大学院准教授の北野幸子先生には、「舞鶴市乳幼児教育の推進体制構築事業検討会議会長」及び「乳幼児教育の質の向上研修 全体及び子どもを主体とした保育研修講師」として、鳴門教育大学大学院教授の木下光二先生には、「乳幼児教育の質の向上研修 保幼小(中)連携研修講師」として、兵庫教育大学大学院教授の溝邊和成先生には、「舞鶴市乳幼児教育の推進体制構築事業検討会議副会長」及び「舞鶴市保幼小接続カリキュラム策定会議会長」として事業に携わっていただき、ご指導いただいています。大変お忙しい中、本取り組みに多大なご尽力をいただきましたことに深く感謝いたします。

皆さまに取り組んでいただいております本事業は全国からも注目いただいております。今年度は多くの行政や研究者の方々から事業の視察に舞鶴までお越しになりました。本報告書には、保育者・教員の皆さんが工夫しながら実施された取り組み、実施して感じられた成果や課題を記しています。今後も舞鶴市のよりよい乳幼児教育の推進のための体制の構築、研修手法について、皆さまと共に学びながら、力を合わせて進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

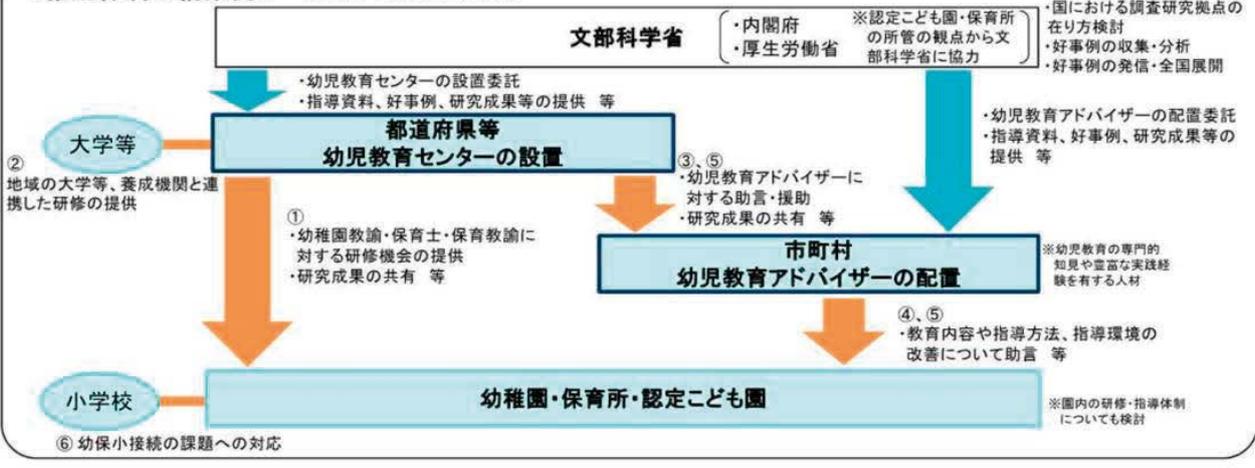
幼児教育の推進体制構築事業

- すべての子供に質の高い幼児教育の提供を目指す、子ども・子育て支援新制度の施行により、幼児教育の提供体制の充実が図られているところであるが、**提供される幼児教育の内容面についても充実を図る必要がある。**
- **幼稚園・保育所・認定こども園を通して、幼児教育の更なる質の充実**を図るため、地域の幼児教育の拠点となる「**幼児教育センター**」の設置や、幼稚園・保育所・認定こども園等を巡回して助言等を行う「**幼児教育アドバイザー**」の育成・配置など、以下の課題等への効果的な対応のために適切な、**地方公共団体における幼児教育の推進体制を構築するためのモデル事業を行い、好事例を収集・分析した上でその成果を全国展開する。**

- ① 都道府県による私立幼稚園・保育所等を含めた研修機会の提供の在り方
- ② 研修の提供に当たっての大学等、地域の養成機関との連携
- ③ 都道府県による域内市町村に対する助言・指導の在り方
- ④ 市町村による域内の幼児教育施設への助言等の在り方
- ⑤ 助言等を行う人材の育成方法
- ⑥ 幼保小接続の課題へ対応するための幼児教育施設・小学校双方での対応の在り方 等

<推進体制の構築例>

【委託先】 都道府県、市町村等

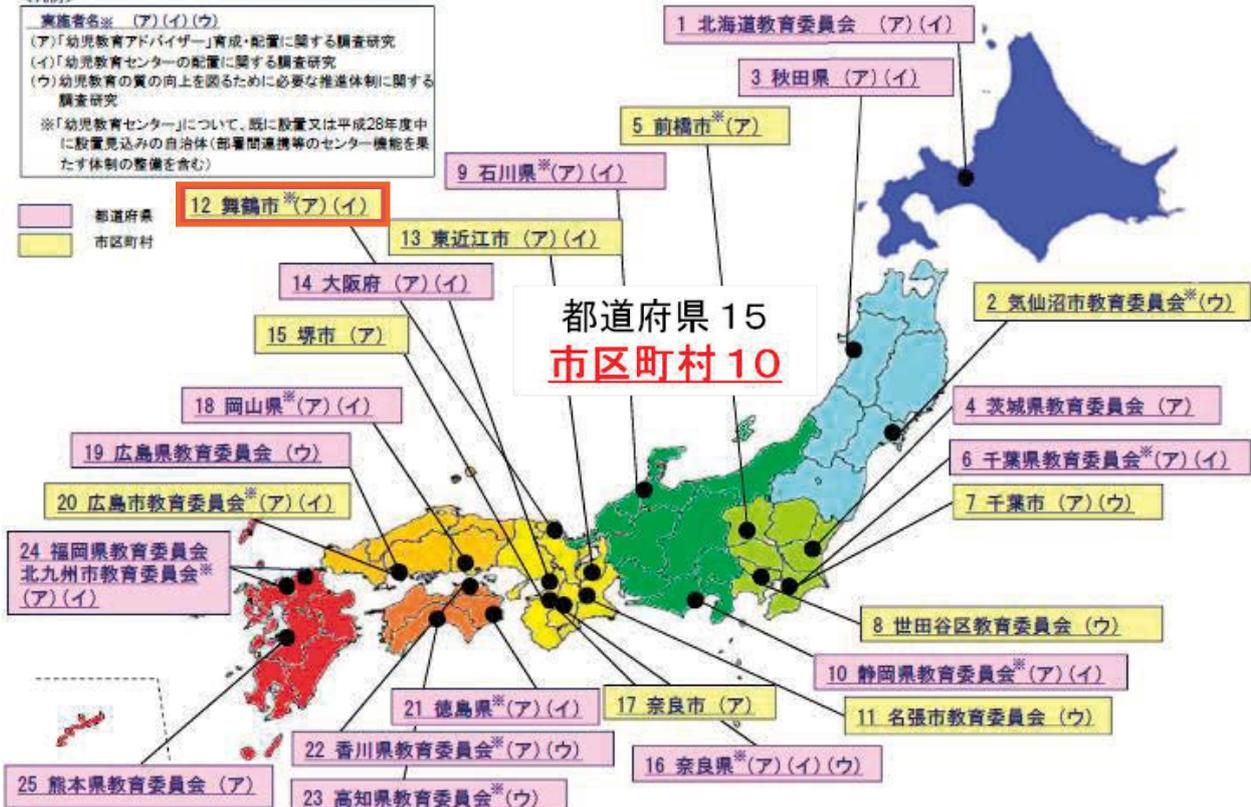


幼児教育の推進体制構築事業 採択先一覧

<凡例>

- 実施者名※ (ア)(イ)(ウ)
- (ア)「幼児教育アドバイザー」育成・配置に関する調査研究
- (イ)「幼児教育センター」の配置に関する調査研究
- (ウ)幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究
- ※「幼児教育センター」について、既に設置又は平成28年度中に設置見込みの自治体(部署間連携等のセンター機能を果たす体制の整備を含む)

- 都道府県
- 市区町村



指導講師	主な内容
<p>神戸大学大学院 准教授 北野 幸子</p> 	<p>「舞鶴市乳幼児教育の推進体制構築事業検討会議 会長」 「乳幼児教育の質の向上研修 全体及び子どもを主体とした保育 講師」</p> <p>※子どもを主体とした保育(プロジェクト型保育) 遊びや生活、身近な自然の中で、子どもたちが興味や関心を抱いていることからピックスを見つけ出し、調べたり、深めたりしてさまざまな活動に発展させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの主体的な活動を支援するため、保育者が、子どもの興味や発見、疑問を見つけ出し、さまざまな活動へ発展させる力や、遊びたくなる環境づくりをするための手法を学ぶ。 <p>※ドキュメンテーション ・子どもの姿やことばを記録し、保育者の意図や考察を加えて、園での遊びや生活の中で子どもたちがどのように育ち、何を学んでいるかを可視化する手法。 保護者や第三者への発信、子ども同士の遊びをつなぐ、保育者の振り返りによる研修や保育の展開に活用できる。</p>
<p>鳴門教育大学大学院 教授 木下 光二</p> 	<p>「乳幼児教育の質の向上研修保幼小(中)連携 講師」</p> <p>保育所や幼稚園と小学校・中学校の連携を深め、子どもの育ちや学びをつなぐ。</p> <p>連携協力校・園での生活科の連携活動の実践交流を中心として、保育所・幼稚園と小学校とのお互いの理解を深めながら、それぞれの「ねらい」を持った連携活動の充実を図る。</p>
<p>兵庫教育大学大学院 教授 溝邊 和成</p> 	<p>「舞鶴市乳幼児教育の推進体制構築事業検討会議 副会長」 「舞鶴市保幼小接続カリキュラム策定会議 会長」</p> <p>舞鶴市乳幼児教育ビジョン基本方針「2保育所・幼稚園、小学校、中学校の連携の充実」「(2)乳幼児期の学びと育ちをつなぐ連携活動の充実」において、保育所・幼稚園の年長児と小学校の1年生が1年を通じて連携活動ができるように取り組むため、各園・校において、年間計画やカリキュラムを作成することとしており、この作成に向け、関係者から幅広い意見を聴くための会議。保育所・幼稚園の年長児から小学校1年生の2年間を通じて、育ってほしい力を保育所・幼稚園と学校が意識し、互いに考え学び合いながら、1年を通じて連携活動が展開できるよう、「舞鶴版保幼小接続カリキュラム」を作成する。</p>

神戸大学大学院 准教授 北野 幸子

舞鶴市の保育の質の維持・向上を図るためのプロジェクトに関わらせていただき、4年が経ちました。保育の実践の質は、実践こそを大切に、実践を基に考えながら、維持・向上を図ることを、当初からの目標としてきました。

舞鶴市において、1年目から4年間、継続して実施させていただいてきた研修、つまり、園種公私を越えた公開保育を軸とし、ドキュメンテーションなども活用しながら、実践を振り返り、語り、考える研修は、益々定着してきました。本年度は特に、その保育実践の中身の質の高さを評価していただき、各地からの公開保育への参加申し込みや、それぞれの園への見学依頼もありました。遊びや生活の中で、一人ひとりの子どもの主体性を尊重し、子どもの気持ち(好奇心、探求心、あこがれ)をみとり、子どもに寄り添いながら環境を構成したり、援助の工夫をほどこしたりしながら行うのが、プロジェクト型保育です。ここでは、子どもの発達への理解が前提となります。その発達知と、それに基づき子どもの姿を洞察する技術、そしてそれらに基づき環境構成や援助を行う判断力や応用力があつてこそ、育ちの軌跡を踏まえ、育ちの見通しをもった保育実践が可能となります。

舞鶴市をモデルとして、実施しているという声も日本各地から届いており、嬉しく思っています。舞鶴市においては、園種公私を越えた、園の先生方が、共に地域の子どもたちを育てていこうとし、共に保育の質の維持・向上を図ってくださっている、保育界の同僚性が形成されており、素晴らしいことであると考えます。イタリアのレッジョ・エミリアにでかけなくても、舞鶴市にはプロジェクト型保育を模索しながら、実践している素晴らしい園がたくさんあります。細切れの活動がお教室やお稽古のようにつぎはぎで与えられるような、指示命令型の与えられた経験中心の保育よりも、子ども自身が感じ、考え、自らがつかむ経験中心の保育がひろがりつつあります。

昨年度、策定に関わらせていただいた「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」では、学校種を越えて、舞鶴市のすべての園から参加してくださった先生方と、そして小中学校の先生方と一緒にすることができました。舞鶴市で生まれた子どもが大人になるまでの教育の在り方、育てたい子ども像を共に考えることができました。園校種を越えた保育者の同僚性づくりがさらには、年齢や学制を越えた、舞鶴市の次世代育成の教育専門職の同僚性が形作られていくきっかけとなって欲しいと考えています。

今年度は、さらには、次世代育成コミュニティの創生が着手されたと考えます。舞鶴市では、広報誌において保育を特集し、10ページもが保育についての内容で埋め尽くされました。このまちの子どもを大切に共に育てる、そういった市の姿勢は、素晴らしいと思います。広報誌の作成に協力させていただき、インタビューを受けたり、写真をとっていただいたりしました。広報誌とかかわり接する機会を得た、官僚のどの方からも、次世代育成の重要性、特に、乳幼児期の子どもの教育が大切であることへの共感が示されて、とても嬉しく思いました。市長の素晴らしいリーダーシップの元で、福祉および教育の担当部局の方々の一体的な試みが、益々進められていき、市内へと広がっていき、次世代育成のコミュニティ創りにつながっていくに違いないと、多いに期待しています。

鳴門教育大学大学院 教授 木下 光二

舞鶴市の連携教育

平成28年度の舞鶴市の保幼小連携教育は、舞鶴市の行政や教育現場がより密接になり、一挙に階段を上ったように思っています。保幼小で集まって相談したり、計画したり、一緒に活動するプロジェクトの量もぐんと増えました。まずは、お互いの教育を理解する取り組みが、全市で進められた結果であったように思います。

1月25日に開催された舞鶴市保幼小連携研修会で渡された「連携活動実践シート」がそのことを如実に物語ってくれています。各ブロックの実践事例の集大成が掲載されていました。もちろん、今年度の実践を踏まえて次年度にどうつなげるかが重要なポイントですが、1年間の成果としては見事な結実と捉えてよいと思います。

特に、市全体に公開された中舞鶴保幼小の活動は印象的でした。活動報告会での発表原稿から一部抜粋して、それぞれの具体的な学びについて紹介させていただきます。

〔保育園の先生〕 今回、連携事業を受けることで、自分の認識の違いに気付け、多くのことを学ばせてもらいました。話し合いのスタートは、子どもの興味関心を起点とした活動となるよう、お互いの子ども達の姿を伝え合うものでした。今思うと、まずは「互いの違いを知る」はとても大切であったと思います。

〔幼稚園の先生〕 最初は緊張していましたが何度も学校へ行ったことで、「また行きたい」「楽しかった」「今度は来てほしい」と次の交流を心待ちにしたり、就学への不安も減ったりしたようです。保護者も同じで、場所に慣れて安心です。と言われました。1年生への憧れの思いもあり、入学を心待ちにしてくれればと思います。交流することは、子どもも教師もお互いに学ぶことが多いので、大切にしていきたいです。

〔小学校の先生〕 1年間の取組の中で、大切にしてきたことや学んだことをまとめると、1つめは、「子どもに主体性をもたせること」です。そのために、子どもたちが夢中になり、みんなで取り組みたいと思えるテーマの設定や場の設定が大切だと学びました。2つめは、「相互の関わり合いになるように、相手意識を持たせて活動させること」です。3つめは、「振り返りをしながら、自分の足跡を残していくこと」です。1年間の活動の中で、同じペアでも、どんどん関係性が変わっていき、「お互いが活発に話をしながら活動ができるようになった」と自分の変化に気付き、成長を実感した児童もたくさんいました。また、教師自身も子どもの学びの姿を、記録することも大切なことだと学びました。今回の活動においては、結果としてできあがったものを評価するだけでなく、遊びやおもちゃを作り上げる過程でどんな学びがあったのか写真等で記録しました。結果だけでなく、プロセスをしっかりと見る視点を実践シートをまとめる中で、幼稚園、保育所の先生方に教えていただきました。子どもの遊びの中や、何気ない会話の中に「子どもの学び」があるのだということに気が付きました。

連携や接続においては、子どもの学びはもとより先生方自身の学びが重要ですが、紹介した記録から、それぞれに具体的な学びがたくさんあったことが窺えます。もちろん課題があることも事実ですが、課題が明らかになったこと、そしてその課題を次年度の活動に引き継ぎ改善していくことが大切です。それは、今まさに重要視されているカリキュラムマネジメントやアクティブラーニングの視点そのものだと思います。

舞鶴市の子ども達の健やかな育ちや豊かな学びが幼児期から児童期に引き継がれることを期待しています。焦らずじっくりと構えて、継続的に取り組まれてください。

お礼にかえて：俯瞰的検討への期待

ここ舞鶴の地では、今まさに新しい時代の教育が動こうとしています。そう、新たな歴史が刻まれ始めようとしているのです。平成23年の「新たな舞鶴市総合計画」の基本構想のもと、「舞鶴市教育振興大綱」(平成27～30年)が掲げられました。それによれば、「ふるさと舞鶴を愛し夢に向かって将来を切り拓く子ども」を“育てたい子ども像”として「0歳から15歳までの切れ目のない質の高い教育の充実」を求め、施策の推進に取り組んできています。その具体的働きかけの一つとして「小中一貫教育」が挙げられます。「教員間の乗り入れ授業等による柔軟な指導体制」をはじめ「児童生徒の交流授業」「ふるさと学習の展開」など9年間を通して児童生徒を育もうとする取り組みです。そこから得られるものは、学びの中心となる「学び手」としての考える力や自覚する力、そして頑張り続ける力などであり、単に学習枠の用意だけにとどまらない確かなチャレンジといえそうです。

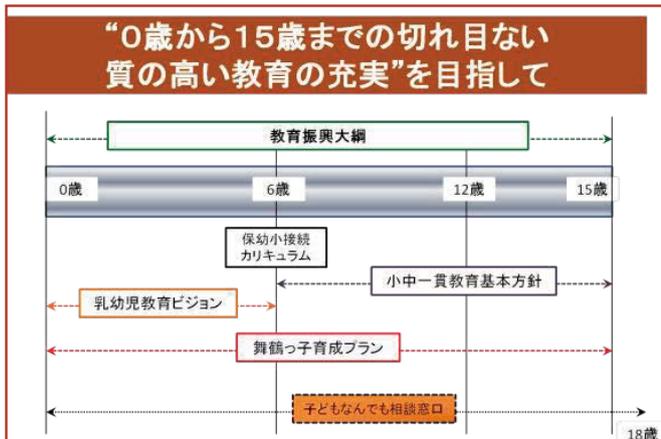
小中学校段階の前にもとても大切な成長の時期があります。「乳幼児教育ビジョン」は、その期における指標の一つとして取り上げることができます。上述の「小中一貫教育」が「学び手を育む」のをめざしているのと同様に、子どもの「主体性」の芽生えを大切に育むことを期待しています。色々な場面・状況において自分で結論付けたり、調整したりすることができる、友だちとのコミュニケーションの中で信頼感や有用感を育む、といった取り組みを用意しようとしています。これらは、小学校との接続も射程に入れた「つながる」実践であることは言うまでもありません。

こうした取り組みは、最近の子どもの発達観や現代社会の動向を踏まえたホットな話題を背景としています。新しい学習指導要領への対応はもちろんのこと、これからの生涯学習社会で活躍する若者の姿を追い求めているといえます。だからこそ、今一度、省察的に成果と課題を並べて、俯瞰的にとらえ直してみたいと考えます。それぞれの立場で良かったから、主張が通ったから、面目が保てたからといった論理で事業報告や試行的実践の検討をパスしてしまうのではなく、新たな視点からも検討することによってその確かさを得る必要があるのではないかと考えるからです。例えば、「自立心」「協同性」「言葉による伝え合い」など「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」として文科省が示す「10項目」を手がかりに、全ての取り組みを検討してみてもはどうでしょう。就学前の段階で止めるのではなく、その後の子どもの育ちとしてもこのような視点で整理するならば、より子どもの成長発達に即したシームレス・カリキュラムが実現されるように思います。

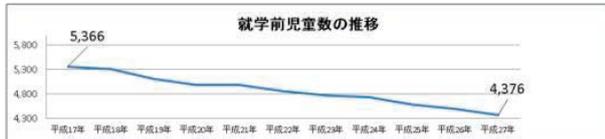
最後になりましたが、「心に知恵が働き、知恵に心が通う」人材育成ともいえる舞鶴の15年プラン作成に参加させていただき、心より感謝申し上げます。

大正から昭和初期に活躍された及川平治氏の「新教育の幕を開かん 凡ての子らのために 私 の全てを捨てて」を真似れば、ここで取り組んでおられる関係者の方々の思いは、「新教育の幕を開かん 舞鶴の子らのために 共に全てを活かして」ということになるでしょう。私自身も全てを活かして、みなさまとともに新世代育成プログラム(保幼小中連続型カリキュラム)の完成に尽力していきたいと思っております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

舞鶴市の現状、教育振興大綱



■舞鶴市 人口 84,220人(H28年1月現在)
 就学前児童数 4,376人(H27年度)
10年間で990人の減



- 保育園 15園(公立3、私立12)
 児童数 1,424人(H17年10月)→1,599人(H27年10月)
- 幼稚園 13園(公立1、私立12)
 園児数 1,644人(H17年5月)→1,315人(H27年5月)

舞鶴市の現状

中学校 公立 7
 小学校 公立 18

※平成27年度児童数 <基準月> 保育所 10月 幼稚園 5月
 ※私立保育所の内1園は分園

保育所 1,599人 公立3 303人 私立12 1,296人	幼稚園 1,315人 公立1 43人 私立12 1,272人
------------------------------------	-----------------------------------

- ◎保育所・幼稚園は公立と私立が存在
- ◎多くが私立の園によって担われている
- ◎各園による特色ある乳幼児教育の実施
- ◎待機児童0

各園の特色は活かしつつ、乳幼児教育のさらなる充実や学校への円滑な接続等を推進するためには……

- ・市全体で乳幼児教育の質向上に取り組む
- ・家庭や地域の乳幼児教育への理解 **が必要**

教育振興大綱の策定と推進(概要)

- 大綱の策定要旨**
- 市長と市教育委員で構成する「舞鶴市総合教育会議」において協議し、平成27年8月に策定。
 - 将来を担う子ども達を育む本市教育の基本的な方針であり、本市が目指す「育てたい子ども像」や「教育の基本理念」、「施策の基本方針」からなる。



育てたい子ども像

ふるさと舞鶴を愛し 夢に向かって将来を切り拓く子ども

育みたいこと

自立	ふるさと舞鶴を愛する	コミュニケーション能力を有する	自律
	夢の実現に向かって力強く生きる	人を思いやり親や周りの人に感謝する	

基本理念

0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育の充実

5つの基本方針

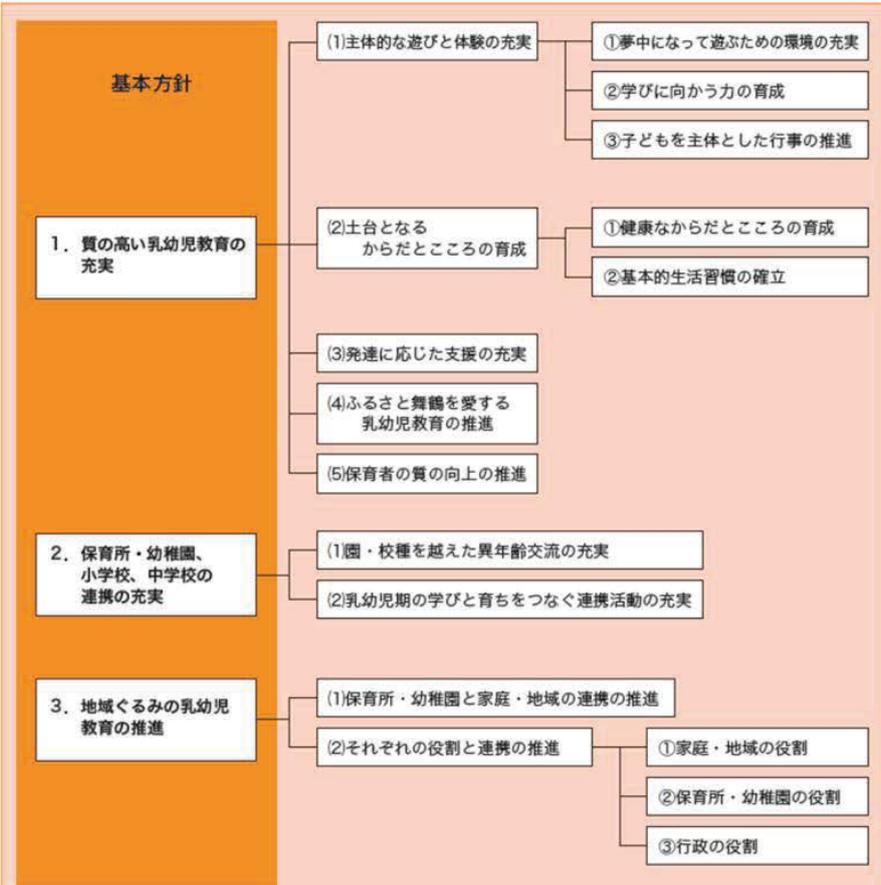
1. 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進
2. 子どもを育てる教育環境の充実
3. ふるさとを愛する教育の推進
4. 地域社会で支える教育と子育て支援の充実
5. 心豊かな生涯学習の推進

舞鶴市乳幼児教育ビジョン体系図

育てたい子ども像	育てたい力	育てたいところ
<ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組む子ども 自分も友達も大切に子ども 意欲的に遊ぶ子ども 	「ほく、わたし」 主体的・意欲的な自分 ○自己決定力 ○自己表現力 ○自己調整力	「みんなの中のほく、わたし」 友達や集団の中の 主体的・意欲的な自分 ○コミュニケーション力 ○協同する力（社会性）
		○安心感 ○信頼感 ○達成感 ○自己肯定感 ○自己有能感 ○自己有用感

基本理念 **主体性を育む乳幼児教育の推進**
 ～みんなでつながり育む舞鶴の子ども～

主体性の育成
 自己を肯定するところの育成



質の高い乳幼児教育の推進に向けて 乳幼児教育ビジョンを推進するための体制づくり

幼児教育ビジョン策定懇話会



【委員】全16名
 学識経験者、
 公私立保育所・幼稚園長、
 小中学校長、PTA、
 民生児童委員、
 子育て関係団体、
 子育てサークルの各代表、
 公募市民

作業部会



【メンバー】全39名
 公私立保育所・幼稚園 保育者各1
 小学校教諭8名、中学校教諭4名

乳幼児教育ビジョン推進事業

舞鶴市乳幼児教育ビジョンについて、市民や地域団体への周知・普及に努めるとともに、ビジョンに基づいた乳幼児教育の質の向上へ向けた研修や関係機関との連携の充実を図る。
また文部科学省の「幼児教育の推進体制構築事業」の採択を受け、事業を通して、乳幼児教育の質の向上へ向けた推進体制構築のための調査研究を行う。

文部科学省調査研究委託「幼児教育の推進体制構築事業」

調査研究テーマ「幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究」

舞鶴市 平成28年度 乳幼児教育ビジョン推進事業

乳幼児教育ビジョンの周知

○講演会、説明会等の開催

○ビジョン通信の発行

- ・家庭向けにビジョンの内容をわかりやすく示す
- ・市民の意見を聴き反映

※助言者：溝邊和成教授（兵庫教育大学大学院）

乳幼児教育センター・コーディネーター機能研究

○行政による乳幼児教育の拠点機能研究

○乳幼児教育の実践と専門家による研究等
各分野をつなぐコーディネーターの育成研究

乳幼児教育の質の向上研修 対象：保育所・幼稚園、小中学校

全体講師：北野幸子准教授[神戸大学大学院]

子どもを主体とした保育

講師：北野幸子准教授
(神戸大学大学院)

- ◇公開、カンファレンス
- ◇講義(指導案の書き方、保育リーダーの役割 他)
- ◇グループワーク(ドキュメンテーション 他)

保幼小(中)連携

講師：木下光二教授
(鳴門教育大学大学院)

- ◇講演
- ◇公開、カンファレンス
- ◇小学校教育研究会生活科部夏季研究会合同研修会 他

保幼小接続カリキュラム策定研究

講師：溝邊和成教授
(兵庫教育大学大学院)

○カリキュラム策定会議

- ・保育所、幼稚園、小学校の保育者・教員代表
- ・H28.29年度：研究
- ・H30年度：策定

○保幼小中保育者・教員研修(全園・全校対象)

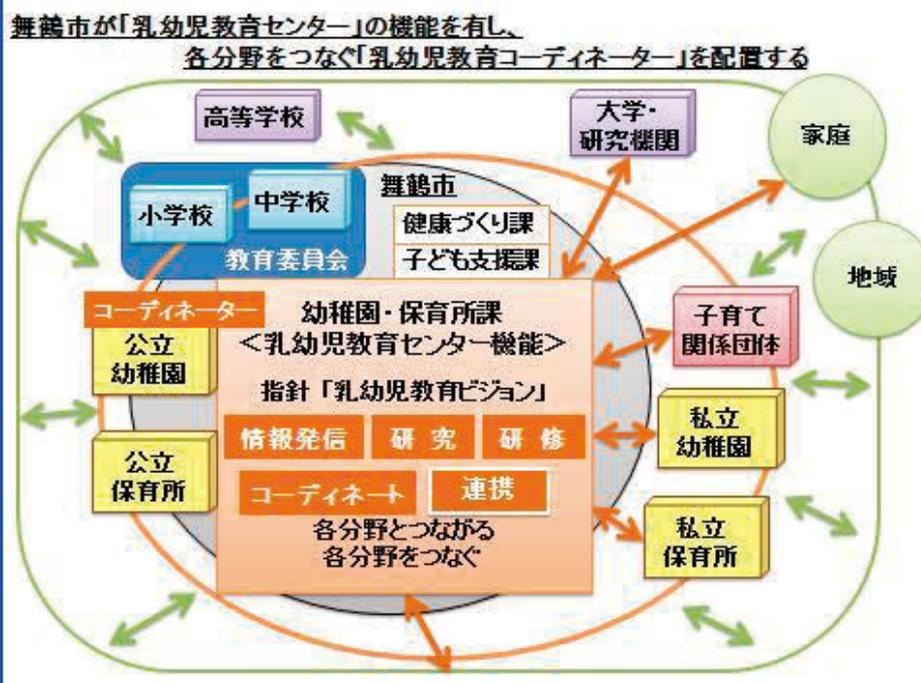
乳幼児教育の推進体制構築事業検討会議

文部科学省の調査研究委託事業の実施について、研究推進体制の検討、研究結果の分析やとりまとめ、普及等の意見を聴くため設置するもの



文部科学省委託事業：調査研究テーマ

舞鶴市の乳幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制及び効果的な研修方法について調査研究を行う



舞鶴市・舞鶴市教育委員会

健康子ども部

幼稚園・保育所課 子ども支援課 健康づくり課 地域医療課

入園入所係

乳幼児教育推進係

舞鶴市乳幼児教育センター(機能)

<職員>

◇乳幼児教育推進係職員(事務職)

◇コーディネーター・相談員

乳幼児教育コーディネーター

(幼稚園教諭・保育士 / 市教育委員会幼児教育担当指導主事)

乳幼児教育相談員

(元保育所長)

特別支援(発達支援)相談員

(元小学校教諭)

企画・運営

訪問

乳幼児教育の質の向上研修 対象

市立幼稚園1

市立保育所3

私立保育所

私立幼稚園

教育委員会

学校教育課 教育総務課 教育企画課

保幼小中連携推進プロジェクトチーム

教育委員会:指導理事、教育振興部長・次長、
教育企画課、学校教育課
健康・子ども部:健康・子ども部長、幼稚園・保育所課

連携体制:研修事業実施

健康・子ども部:子ども支援課
教育委員会:学校教育課
(指導主事)

連携体制:発達支援(巡回等)実施

健康・子ども部:子ども支援課(主管課)、健康づくり課
教育委員会:教育企画課

発達支援巡回対象

市立小学校

市立中学校

研究者

医師、
臨床心理士、
作業療法士等

舞鶴市乳幼児教育の推進体制構築事業検討会議 メンバー

学識経験者、舞鶴市民間保育園連盟、舞鶴市私立幼稚園協会、舞鶴市小学校長会・中学校長会
舞鶴市立保育所・幼稚園・小学校・中学校、まいづる子育てサークル連絡会、公募市民
事務局:健康・子ども部 幼稚園・保育所課、教育委員会 教育企画課、学校教育課

舞鶴市保幼小接続カリキュラム策定会議 メンバー

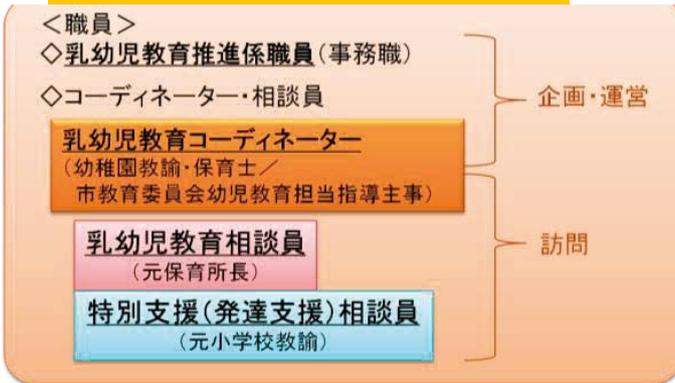
学識経験者、舞鶴市民間保育園連盟・舞鶴市私立幼稚園協会(園長・保育者)、
舞鶴市立保育所・幼稚園(園長・保育者)・小学校(校長・教諭)
事務局:健康・子ども部 幼稚園・保育所課、教育委員会 学校教育課

研究内容 1：乳幼児教育の質向上に必要な推進体制

(1) 乳幼児教育センター

乳幼児教育の推進拠点として、情報発信、研究、研修開催、各分野をつなぐコーディネート等に関する業務を行う。市役所幼稚園・保育所課(乳幼児教育推進係 係員2名)に機能設置。「乳幼児教育コーディネーター」及びその補佐的役割を持つ「乳幼児教育相談員」「特別支援教育相談員」を配置。企画・運営にあたっては、教育委員会と連携。

舞鶴市乳幼児教育センター(機能)



「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」第4章 質の高い乳幼児教育の推進に向けて

1 乳幼児教育ビジョンを推進するための体制づくり

市には、関係者の連携の機会の提供等、各分野をつなぐコーディネート機能が求められています。

さらに、全市的な研究・研修の実施、情報発信等、保育所や幼稚園、学校等、個々では難しい取り組みを実施し、各園・校が行っておられる活動をサポートする機能も求められています。

市には、こうしたコーディネートやサポートを行う乳幼児教育のセンターとしての役割があります。

舞鶴市乳幼児教育ビジョンに基づき以下の事業を実施

- ①「乳幼児教育ビジョンの周知」(情報発信、保護者・地域との連携、園・校の取り組み支援)

乳幼児教育の質向上に密接に関わる保護者や地域住民の理解を得るため、乳幼児期に大切にしたいことなど、「乳幼児教育ビジョン」の内容について、講演会(P.42)や広報紙等による情報発信(P.178)を行った。
- ②「乳幼児教育の質の向上研修」(研修、保幼小中の連携、研究者との連携)

大学の研究者と連携し、保育・授業の公開やグループワークを中心に、公立・私立の保育所・幼稚園、小学校・中学校の保育者・教員が共に学ぶ研修を実施。
テーマ「子どもを主体とした保育」「保幼小(中)連携」
- ③「保幼小接続カリキュラム研究」(研究、保幼小の連携、研究者との連携)

保育所・幼稚園の年長児から小学校1年生の2年間を通じて、育てほしい力を保育所・幼稚園と学校が意識し、互いに考え学び合いながら、1年を通じて連携活動が展開できるよう、「舞鶴版保幼小接続カリキュラム」を作成する。
- ④「園・校訪問」(サポート、コーディネート) 訪問実績P.23

乳幼児教育コーディネーター及び相談員が、保育所・幼稚園・小学校・中学校等の取り組みのお手伝いをする。

 - 公開保育・授業を行う保育所・幼稚園・小学校への説明や講師からのアドバイスの伝達、事前・事後勉強会の実施等のバックアップ
 - 園内研修の題材提供、ファシリテーター役
 - 発達障害児支援事業(子ども支援課所管)のスタッフとして巡回
- ⑤「就学前親子の就園支援」(コーディネート)

公立幼稚園で実施している就学前の親子が参加する事業に乳幼児教育コーディネーター及び相談員が携わり、保護者と保護者の希望する園(公私立・園種問わず)とのコーディネートを行っている。
- ⑥「乳幼児教育センター・コーディネーター機能研究、乳幼児教育コーディネーターの育成配置」(研究)
- ⑦「報告会の開催」(情報発信、研究、研修、保幼小中の連携)P.24

(2) 乳幼児教育コーディネーター、相談員

乳幼児教育の専門的な知見や実践経験を有し、センターが行う業務の企画・運営に携わるとともに、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、各園・校の取り組みのサポート及び就園サポートを行う。

＜配置状況＞ 3名

- ①乳幼児教育コーディネーター:1名(常勤職員)
公立幼稚園副園長兼市教育委員会幼児教育担当指導主事(元公立保育所保育士)
- ②乳幼児教育相談員:1名(非常勤職員)
元公立保育所長・市保育所所管課長
- ③特別支援教育相談員:1名(非常勤職員)
元小学校教諭・特別支援教育コーディネーター、子ども発達支援施設巡回相談員

＜園訪問＞ 56回 訪問実績P.23

(3) 文部科学省調査研究受託期間の全体計画

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
乳幼児教育センター H31.4月～公立幼保連携型認定こども園に併設予定	幼稚園・保育所課に機能設置 機能の検討	機能の確立	開設準備
乳幼児教育コーディネーター(幼児教育担当指導主事兼務)	市長部局 幼稚園・保育所課に配置・育成 後進育成		
相談員 ・乳幼児教育相談員 ・特別支援教育相談員	幼稚園・保育所課に配置・育成		
乳幼児教育ビジョンの周知(講演・広報等)			ビジョンの見直し
研修事業 講演・公開・グループワーク ・子どもを主体とした保育 ・保幼小(中)連携 ・ドキュメンテーション	継続実施(順次改善、充実) 報告会(開催)	体系化・指標の検討 報告会の対象拡大	シンポジウム開催
保幼小接続カリキュラム	策定会議の設置 研修・研究	全体版作成、活動実践例収集	保幼小接続カリキュラム作成

研究内容 2：研修方法【子どもを主体とした保育研修】

【子どもを主体とした保育研修】

(1)対象：保育所、幼稚園

※乳幼児教育の理解を促し、乳幼児期の育ち・学びを小学校以降の学びにつなげるため、小学校・中学校にも研修参加の呼びかけを行っている。

(2)構成：基本的には 1日目に講義・グループワーク、2日目午前に公開保育・カンファレンス

(3)効果測定：アンケート

(4)今年度工夫点：

①公開保育の指導案について事前勉強会を実施

指導案については、公開保育の受付時に配布していたが、参加者から「読む間がない」等の意見があったこともあり、公開保育の前日に講義とグループワークを実施することとし、事前配布及び講師から指導案作成の助言や見る際のポイント等について講義を受ける形に変更した。

②公開保育時の「子どもの姿記入シート」の導入

公開保育の中での子どものやり取りや発見等を参観者が記入するシートを配布。公開してくれた園にとっては、同時に展開する子ども達の姿が分かるように、参観者にとっては、保育の内容に視点が向けられるようにとのねらいから導入した。

③グループワーク

昨年度に引き続き、記録やドキュメンテーションを題材にグループワークを実施する中で、見取りのポイントとなるワークシートや年齢発達についての資料を作成・配布した。

④リーダー研修

園内研修につながるよう、園内研修のリーダーとなる主任級に向けた、講義・グループワークを実施。

(5)実施体制：乳幼児教育センター（幼稚園・保育所課、子ども支援課、教育委員会 学校教育課）

(6)乳幼児教育コーディネーターの動き（センター職員等他の職員と共に行うものも含む）

①研修事業の内容検討

②講師との調整

③保育所・幼稚園の園長会、小学校・中学校校長会への説明

④公開保育実施園（希望園）への訪問説明

⑤公開保育実施園の事前勉強会の実施

⑥研修の実施（司会等）

⑦公開保育実施園の事後勉強会の実施

⑧希望園への園内研修サポート

⑨報告会発表に向けた公開園のサポート

⑩報告会展示に向けたドキュメンテーション取り組み園へのサポート

⑪報告書掲載に向けた各園へのサポート

【保幼小連携、保幼小中連携、保幼小接続カリキュラム】

＜保幼小連携、保幼小中連携＞

- (1)対象：保育所、幼稚園、小学校、中学校
- (2)構成：講演、講義・グループワーク、公開活動
- (3)効果測定：アンケート
- (4)今年度工夫点：

①協力校・園の指定

それぞれの地域で行われている連携活動はそのまま尊重しつつ、校区内に保育所・幼稚園のない学校等もあることから、生活科の活動を中心に行う連携校・園を教育委員会から指定した。

②保幼小連携研修の連続開催

これまでから実施していた小学校教育研究会生活科部の夏期研究会との合同開催による講義・グループワークの研修や、モデル園・校による公開・カンファレンスを引き継ぎながら、組み立てを見直し、計画・実践(公開)・評価の連続開催とした。P.34

③保幼小中連携研修会の開催

保幼小連携を一過性のものとすることなく、園・校全体での取り組みにつなげるため、園長や校長をはじめとした全体向けの講演会を併せて実施した。

また乳幼児期の育ちと学びをつなぎ連携を図るため、次期教育要領・学習指導要領から考えるこれからの教育についての講演会を実施した。

これらは、乳幼児教育ビジョン推進事業策定の際、保幼小中の保育者・教員で構成された作業部会から「保幼小中いろいろな立場の先生方と意見交換ができ、多くの気付きがあつて、とても良い機会であった。今後もこのような機会、保幼小中の先生方が交流でき、同じ議題の研修を受け、個々に自覚し、本当に質の高い保育・教育ができること、そして各校・園に持ち帰り、全体に向上できればよいと思う。」との意見を受け、この連携体制を引き継いだものである。

＜保幼小接続カリキュラム策定＞

- (1)経緯：舞鶴市乳幼児教育ビジョン基本方針「2保育所・幼稚園、小学校、中学校の連携の充実」「(2)乳幼児期の学びと育ちをつなぎ連携活動の充実」において、保育所・幼稚園の年長児と小学校の1年生が1年を通じて連携活動ができるように取り組むため、各園・校において、年間計画やカリキュラムを作成することとしている。
- (2)目的：保育所・幼稚園の年長児から小学校1年生の2年間を通じて、育ってほしい力や育てたい力を保育所・幼稚園と学校が意識し、互いに考え学び合いながら、1年を通じて連携活動が展開できるよう、「舞鶴版保幼小接続カリキュラム」を作成する。(平成28～30年度 3年事業予定)
- (3)舞鶴市保幼小接続カリキュラム策定会

保幼小接続カリキュラム策定に向けて、市民、専門家等から幅広い意見を聴くための会議

メンバー：学識経験者、舞鶴市民間保育園連盟・舞鶴市私立幼稚園協会(園長・保育者)、舞鶴市立保育所・幼稚園(園長・保育者)・小学校(校長・教諭)事務局：健康・子ども部 幼稚園・保育所課、教育委員会 学校教育課

平成28年度：保幼小連携・接続についての講義受講・グループワーク 課題等検討

平成29年度：全体版(接続期に育ってほしい力等)作成、活動実践例収集

平成30年度：保幼小接続カリキュラム作成

実施内容：平成28年度事業一覧

日時／参加者数	内 容	場 所
平成28年5月7日(土) 13:00～15:00 15:20～17:20 平成28年5月8日(日) 9:30～11:30	事業発表「日本保育学会 第69回大会」 [ポスター発表] 研究テーマ：「保育の可視化と保育者の専門性～公開保育と記録工夫」 発表：神戸大学大学院 北野幸子 准教授 舞鶴市健康・子ども部幼稚園・保育所課 東山保育園、中保育所 講演「保育の質の向上を目指す制度とは」 講師：白梅学園大学 無藤隆 教授 [学会企画Ⅱ 課題研究会主催シンポジウム] テーマ：『乳幼児教育・保育の質を維持・向上するための方策と課題一導 入過程から実践活動での保育者の受容と葛藤について』	東京学芸大学
平成28年5月9日(月) 9:30～12:00	現地研修 ゆうゆうのもり幼保園(横浜市)	ゆうゆうのもり幼保園(横浜市)
平成28年6月10日(金)	事業視察対応 (四条畷市) 8人	
平成28年6月17日(金) 10:00～11:30 11:30～12:30 約47人	[子どもを主体とした保育研修] 指導：神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 公開保育 2. カンファレンス 参加：永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、平保育園、タンポポハウス 東山保育園、八雲保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児 保育所、朝日幼稚園、朝来幼稚園、池内幼稚園、 倉梯幼稚園、シオン幼稚園、橘幼稚園、三鶴幼稚園、舞鶴幼稚園	舞鶴幼稚園
平成28年6月17日(金) 15:00～15:40 15:40～17:00 約37人	[子どもを主体とした保育研修] 園内研修に向けたグループ研修 指導：神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 講義 「ドキュメンテーションとは」 2. グループワーク 「記録から保育(遊び)の中の学び・育ちをみとる」 ※事例の記録をワークシートの視点にそって読み取り、グループ内 で意見交換する 参加：永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、平保育園、タンポポハウス 東山保育園、八雲保育園、ルンビニ保育園、やまもも保育園、うみ べのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝日幼稚園、朝来幼 園、倉梯幼稚園、舞鶴聖母幼稚園、舞鶴幼稚園	舞鶴市勤労者福祉センター ホール
平成28年6月18日(土) 10:30～12:00	舞鶴市乳幼児教育の推進体制構築事業検討会議 会長：神戸大学大学院 北野幸子 准教授 副会長：兵庫教育大学大学院 溝邊和成 教授 1. 事業説明 2. 意見交換 参加：乳幼児教育の推進体制構築事業検討会委員 11人 学識経験者、民間保育園連盟、私立幼稚園協会、公立保育所、公 立幼稚園、小学校長会、中学校長会、まいづる子育てサークル連絡 会、公募市民	中総合会館 401会議室
平成28年6月18日(土) 13:00～15:30 約160人	「乳幼児教育ビジョン講演会」 講師：神戸大学大学院 北野幸子 准教授 講演「乳幼児期に大切にしたいこと」 参加：市内保育所・幼稚園・小学校・中学校関係者、保護者	中総合会館 コミュニティ ホール
平成28年6月21日(火) 13:55～14:40	「小学校訪問授業」 倉梯小学校6学年 77名 (総合的な学習)	倉梯小学校

日 時	内 容	場 所
平成28年7月8日(金) 10:00~11:30 10人	「乳幼児教育ビジョン説明会」 1. 乳幼児教育の制度と舞鶴市の取り組みについて 2. 舞鶴市乳幼児教育ビジョンについて 3. 舞鶴市乳幼児教育ビジョン解説「子どもたちの姿から見る主体性」 参加:平成28年度城南会館健やか子育て教室、保護者 説明者:幼稚園・保育所課、乳幼児教育コーディネーター、保育士	城南会館 ホール
平成28年7月14日(木) 15:00~ 17:00 約24人	「子どもを主体とした保育研修」 指導:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. グループワーク「記録から保育(遊び)の中の学び・育ちをみとる」 ※事例の記録をワークシートの視点にそって読み取り、グループ内で意見交換する 2. 講義「指導案について」 3. 指導「公開保育指導案」 参加:永福保育園、岡田保育園、平保育園、タンポポハウス、東山保育園、八雲保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝来幼稚園	西総合会館 4階 文化情報センター 第1会議室
平成28年7月15日(金) 9:30~11:00 11:00~12:00 約34人	「子どもを主体とした保育研修」 指導:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 公開保育 2. カンファレンス 参加:永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、平保育園、タンポポハウス、東山保育園、八雲保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝来幼稚園、池内幼稚園、倉梯幼稚園、中舞鶴幼稚園、舞鶴聖母幼稚園、舞鶴幼稚園	朝来幼稚園
平成28年7月19日(火)	事業視察対応 (宝塚市) 4人	
平成28年7月27日(水) 8人	「保幼小連携」 公開校園勉強会 参加:中舞鶴小学校、中舞鶴幼稚園、中保育所	中舞鶴小学校
平成28年8月17日(水) 9:00~11:30 約80人	「保幼小中連携研修」 指 導:鳴門教育大学大学院 木下光二 教授 講演「学びと育ちをつなげる連携教育～遊び込みから学び込みへ記録と発信の重要性～」 参加:永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、昭光保育園、相愛保育園、平保育園、タンポポハウス保育園、なかすじ保育園、東山保育園、八雲保育園、やまもも保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝来幼稚園、倉梯幼稚園、シオン幼稚園、橘幼稚園、中舞鶴幼稚園、ひばり幼稚園、舞鶴聖母幼稚園、三鶴幼稚園、森の子ら幼稚園、舞鶴幼稚園、朝来小学校、余内小学校、池内小学校、大浦小学校、岡田小学校、倉梯小学校、倉梯第二小学校、志楽小学校、新舞鶴小学校、高野小学校、中筋小学校、中舞鶴小学校、福井小学校、三笠小学校、明倫小学校、由良川小学校、吉原小学校、与保呂小学校、青葉中学校、加佐中学校、白糸中学校、城南中学校、城北中学校、若浦中学校、和田中学校	市政記念館 ホール
平成28年 8月17日(水) 13:00~16:30 約54人	「保幼小連携研修」 指 導:鳴門教育大学大学院 木下光二 教授 1. 講義「子どもの主体性が発揮される活動づくりのポイント」 2. グループワーク「連携協力校・園ごとの生活科『たのしいあきいっぱい』での交流活動づくり」 参加:永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、昭光保育園、相愛保育園、平保育園、タンポポハウス保育園、なかすじ保育園、東山保育園、八雲保育園、やまもも保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝来幼稚園、池内幼稚園、倉梯幼稚園、中舞鶴幼稚園、ひばり幼稚園、舞鶴聖母幼稚園、	市政記念館 ホール

実施内容:平成28年度事業一覧

日 時	内 容	場 所
	三鶴幼稚園、舞鶴幼稚園、朝来小学校、余内小学校、池内小学校、大浦小学校、倉梯小学校、倉梯第二小学校、志楽小学校、新舞鶴小学校、高野小学校、中筋小学校、中舞鶴小学校、福井小学校、三笠小学校、明倫小学校、由良川小学校、吉原小学校、与保呂小学校、小学校教育研究会生活科部員	
平成28年8月23日(火)	事業視察対応 (神戸大学附属幼稚園研究者) 1人	
平成28年9月6日(火) 16人	[子どもを主体とした保育研修] 公開園勉強会 参加: さくら保育園、タンポポハウス、うみべのもり保育所	うみべのもり 保育所
平成28年9月12日(月) 15:00~15:40 15:40~17:00 約29人	[子どもを主体とした保育研修] 園内研修に向けたグループ研修 指導: 神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. グループワーク「ドキュメンテーションから保育(遊び)の中の学び・育ちをみとる～発達の視点でとらえる～」 ※参加園から提出されたドキュメンテーションをもとに、ワークシートの視点に沿って読み取り、グループ内で意見交換する 2. 指導「公開保育指導案」 参加: 永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、タンポポハウス、平保育園、なかすじ保育園、東山保育園、やまもも保育園、八雲保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝来幼稚園、舞鶴聖母幼稚園、舞鶴幼稚園 視察: 大学研究者、こども園研究者、教育保育関連本著者、保育講師	西総合会館 4階 文化情報セン ター 第一会議室
平成28年9月13日(火) 9:30~11:15 11:15~12:30 約49人	[子どもを主体とした保育研修] 指導: 神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 公開保育 2. カンファレンス 参加: 永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、タンポポハウス、平保育園、なかすじ保育園、東山保育園、やまもも保育園、八雲保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝来幼稚園、橘幼稚園、舞鶴幼稚園、三笠小学校 視察: 大学研究者、こども園研究者、教育保育関連本著者、保育講師	うみべのもり 保育所
平成28年10月4日(火) 12人	[子どもを主体とした保育研修] 公開園勉強会 参加: さくら保育園、タンポポハウス、うみべのもり保育所	うみべのもり 保育所
平成28年10月6日(木) 6人	[保幼小連携] 公開校園勉強会 参加: 中舞鶴小学校、中舞鶴幼稚園、中保育所	中舞鶴小学 校
平成28年10月13日(木) 9:30~16:30	事業発表「第60回全国保育研究集会」 第3分科会「保育者の資質向上を図る」 発表: 八雲保育園	ホテルクレメン ト徳島 金扇
平成28年10月20日(木) 15:00~17:00 31人	[子どもを主体とした保育研修] 園内研修に向けたグループ研修 指導: 神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. グループワーク「ドキュメンテーションから保育(遊び)の中の学び・育ちをみとる～発達の視点でとらえる～」 ※参加園から提出されたドキュメンテーションをもとに、ワークシートの視点に沿って読み取り、グループ内で意見交換する 2. 指導「公開保育指導案」 参加: 永福保育園、岡田保育園、昭光保育園、さくら保育園、タンポポハウス、平保育園、なかすじ保育園、東山保育園、八雲保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、橘幼稚園、舞鶴聖母幼稚園	西総合会館 4階 文化情報セン ター 第1会議室
平成28年10月21日(金) 9:30~11:15 11:15~12:30 44人	[子どもを主体とした保育研修] 指導: 神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 公開保育 2. カンファレンス 参加: 永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、昭光保育園、	タンポポハウ ス

日時／参加者数	内 容	場 所
	タンポポハウス、平保育園、なかすじ保育園、東山保育園、八雲保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、倉梯幼稚園、三鶴幼稚園	
平成28年10月24日(月)	【情報発信】 FMまいづる出演「乳幼児教育ビジョンについて」	
平成28年10月25日(火)	事業視察対応 (中津市議会) 7人	
平成28年10月27日(木)	【保幼小連携】 公開校園勉強会 参加: 中舞鶴小学校、中舞鶴幼稚園、中保育所	中舞鶴小学校
平成28年10月28日(金) 15:30~17:30 15人	舞鶴市保幼小接続カリキュラム策定会議 会長: 兵庫教育大学大学院 溝邊和成 教授 1. 事業説明(事務局) 2. 講義 兵庫教育大学大学院 溝邊和成 教授 参加: 保幼小カリキュラム策定会議委員 15人 私立保育園長、私立幼稚園長、公立保育所長、公立幼稚園長、小学校長、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭	舞鶴市役所 別館5階 中会議室
平成28年10月29日(土) 13:30~15:30 約100人	「乳幼児教育ビジョン講演会」 講師: 兵庫教育大学大学院 溝邊和成 教授 講演「幼児期から小学校へ 学びを育む環境」 参加: 市内保育所・幼稚園・小学校・中学校関係者、保護者	商工観光センター 4階 展示交流室
平成28年11月1日(火) 10:30~16:30 11月2日(水) 9:30~15:30	【他市事例研究】幼児教育の推進体制構築事業 平成28年度 高知県幼児教育の推進体制シンポジウム ～キャリアステージに応じた人材育成研修の充実～	高知市県民文化ホール(1日) 高知県ふくし交流プラザ(2日)
平成28年11月10日(木) 10:00~11:30 11:30~12:30 39人	【子どもを主体とした保育研修】 指導: 神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 公開保育 2. カンファレンス 参加: 岡田保育園、さくら保育園、平保育園、タンポポハウス、なかすじ保育園、東山保育園、八雲保育園、やまもも保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、倉梯幼稚園、三鶴幼稚園、舞鶴幼稚園	さくら保育園
平成28年11月10日(木) 14:00~16:00 18人	【子どもを主体とした保育研修】 園内研修に向けたグループ研修 指導: 神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 講義「園での保育リーダーとしての役割と園内研修の方法について」 2. グループワーク「記録から保育を読み取る」 ファシリテーターとして 参加: 岡田保育園、さくら保育園、相愛保育園、タンポポハウス、なかすじ保育園、東山保育園、八雲保育園、やまもも保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、舞鶴聖母幼稚園、舞鶴幼稚園	舞鶴市勤労者福祉センター ホール
平成28年11月11日(金) 10:30~12:00	【他市事例研究】幼児教育の推進体制構築事業 福井県幼児教育支援センター視察	福井県幼児教育支援センター
平成28年11月15日(火) 9:50~10:35	【保幼小連携研修】 指導 鳴門教育大学大学院 木下光二 教授 1. 中舞鶴小学校・中舞鶴幼稚園・中保育所連携活動 公開授業・保育 2. カンファレンス 参加: 永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、相愛保育園、なかすじ保育園、東山保育園、八雲保育園、やまもも保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝来幼稚園、池内幼稚園、倉梯幼稚園、橘幼稚園、中舞鶴幼稚園、	中舞鶴小学校

日時／参加者数	内 容	場 所
	舞鶴聖母幼稚園、三鶴幼稚園、ひばり幼稚園、舞鶴幼稚園、朝来小学校、余内小学校、池内小学校、大浦小学校、岡田小学校、倉梯小学校、倉梯第二小学校、志楽小学校、新舞鶴小学校、高野小学校、中舞鶴小学校、中筋小学校、三笠小学校、明倫小学校、福井小学校、由良川小学校、吉原小学校、与保呂小学校	
平成28年11月19日(土) 6:30～19:45 24人	【現地研修】 平成28年度神戸大学附属幼稚園・附属小学校 研究発表会 参加 1. 公開保育 2. 幼稚園提案、初期部会提案 3. シンポジウム 白梅学園大学・子ども学部教授 無藤隆氏 國學院大學・人間開発学部教授 神長美津子氏 明星大学・教育学部教授 吉富芳正氏 早稲田大学・人間科学部教授 浅田匡氏 コーディネーター 伊藤篤校長 神戸大学発達科学部教授 参加: 昭光保育園、東山保育園、八雲保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝来幼稚園、高野小学校、吉原小学校	神戸大学附属幼稚園・附属小学校
平成28年11月19日(土) 5:30～20:45 26人	【現地研修】 平成28年度幼児教育研究会 参加 1. 公開保育 2. 全体会・研究発表 3. 分科会 4. 対談「遊誘財から豊かな遊びを創り出すための『財』と『財』—幼児を遊びに誘う環境の『財』と協働し育ち合う人の『財』の関係性から見えるもの—」 司会: 鳴門教育大学大学院幼年発達支援コース準教授 塩路晶子氏 名古屋学芸大学大学院教授・前文部科学省視学官 津金美智子氏 鳴門教育大学附属幼稚園長 佐々木 晃氏 参加: 岡田保育園、昭光保育園、東山保育園、八雲保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、舞鶴幼稚園	鳴門教育大学附属幼稚園
平成28年12月1日(金)	【情報発信】 広報まいづる12月号 ビジョン通信掲載	
平成28年12月7日(水)	事業視察対応(高槻市) 5人	
平成28年12月9日(金) 10:00～11:30 10人	【情報発信】 乳幼児教育ビジョン説明会 1. 舞鶴市の取り組みと今日の内容について 2. 舞鶴市乳幼児教育ビジョン解説 「主体的な遊びと体験～具体的な子どもの姿から～」 4. グループトーク 参加: 平成28年度城南会館健やか子育て教室、保護者 説明者: 幼稚園・保育所課 // 乳幼児教育コーディネーター 保育士	城南会館ホール
平成28年12月15日(木) 16:00～17:30 15人	舞鶴市保幼小接続カリキュラム策定会議 グループワーク「子どもの現状と課題、育てほしい姿」 参加: 保幼小接続カリキュラム策定会議委員	舞鶴市役所別館6階大会議室
平成28年12月15日(木) 18:00～19:30	【情報発信】 保護者向けビジョン通信意見交換会 助言: 兵庫教育大学大学院 溝邊和成 教授 参加: 検討会議委員から子育て団体代表、公募市民	うみべのもり保育所 多目的室
平成28年12月20日(火)	【情報発信】 FMまいづる出演「乳幼児教育ビジョンについて」	

日時／参加者数	内 容	場 所
平成29年1月25(水) 14:15～16:30 51人	【保幼小連携研修】 実践交流会 講義・指導 鳴門教育大学大学院 木下光二教授 1. 実践交流 2. グループ発表 3. 講義「遊びと学びの可視化について」 参加：永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、相愛保育園、平保育園、 タンポポハウス、なかすじ保育園、東山保育園、八雲保育園、やま もも保育園、ルンビニ保育園、うみべのもり保育所、中保育所、 西乳児保育所、朝来幼稚園、池内幼稚園、倉梯幼稚園、橘幼稚 園、中舞鶴幼稚園、舞鶴聖母幼稚園、三鶴幼稚園、 舞鶴幼稚園、朝来小学校、余内小学校、池内小学校、大浦小学 校、岡田小学校、倉梯小学校、倉梯第二小学校、志楽小学校、新 舞鶴小学校、高野小学校、中舞鶴小学校、中筋小学校、三笠小 学校、明倫小学校、福井小学校、由良川小学校、吉原小学校、与 保呂小学校	商工観光セン ター 4階 展示交流室
平成29年1月27日(金)	事業視察対応 (東京大学大学院教育研究科附属発達保育実践政策学 センター(静岡大学大学院教育学研究科、金沢大学人間社会研究科) 4人	
平成29年2月4日(土) 13:30～16:30 170人	平成28年度「報告会」 講演・指導：神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 乳幼児教育ビジョン推進事業 報告 2. 子どもを主体とした保育：公開保育報告 (事務局 舞鶴幼稚園 朝来幼稚園 うみべのもり保育所 タンポポハ ウス さくら保育園) 3. 保幼小連携：公開授業・保育報告 (事務局 中舞鶴小学校 中保育所 中舞鶴幼稚園) 4. 保幼小接続カリキュラム策定会議より報告 (事務局 会長 副会長) 5. 子どもを主体とした保育：ドキュメンテーション・記録 報告(事務局) 6. 講演「乳幼児教育の質向上のための園内研修の方法～ドキュメンテー ションを活用して～」 <ドキュメンテーションの掲示> 永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、タンポポハウス、なかすじ 保育園、東山保育園、ルンビニ保育園、八雲保育園、やまもも保育 園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、舞鶴幼稚園 参加：永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、昭光保育園、相愛保育 園、タンポポハウス、なかすじ保育園、東山保育園、ルンビニ保育 園、八雲保育園、やまもも保育園、うみべのもり保育所、中保育 所、西乳児保育所、朝来幼稚園、池内幼稚園、倉梯幼稚園、シオン 幼稚園、橘幼稚園、中舞鶴幼稚園、ひばり幼稚園、舞鶴聖母幼稚 園、三鶴幼稚園、舞鶴幼稚園、大浦小学校、岡田小学校、倉梯小 学校、志楽小学校、福井小学校、中舞鶴小学校、明倫小学校、由 良川小学校、吉原小学校、城北中学校 視察：焼津市、雑誌取材	舞鶴商工観光 センター コンベンション ホール
平成29年2月4日(土) 17:00～17:45	舞鶴市幼児教育の推進体制構築事業検討会議 1. 報告を受けて意見交換 2. 次年度に向けて	舞鶴商工観光 センター 大会議室



実施内容:平成28年度事業一覧

日時／参加者数	内 容	場 所
平成29年2月27日(月) 15:00～17:15 91人	<p>[保幼小中連携研修会・保幼小接続カリキュラム策定会議]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講演「次期教育要領・学習指導要領等から考えるこれからの教育 —主体的・対話的で深い学び—」 文部科学省 初等中等教育局 田村学 視学官 2. 報告「保幼小接続カリキュラム策定会議研究状況について」 舞鶴市保幼小接続カリキュラム策定会議 副会長より 3. 対談「主体性を育む保幼小中の連携・接続」(会場意見交換含む) 兵庫教育大学大学院 溝邊和成 教授 文部科学省 初等中等教育局 田村学 視学官 <p>参加:永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、昭光保育園、平保育園、 タンポポハウス、東山保育園、ルンビニ保育園、八雲保育園、やま もも保育園、うみべのもり保育所、中保育所、西乳児保育所、朝来 幼稚園、池内幼稚園、倉梯幼稚園、シオン幼稚園、ひばり幼稚園、 舞鶴聖母幼稚園、三鶴幼稚園、森の子ら幼稚園、舞鶴幼稚園、 朝来小学校、余内小学校、大浦小学校、岡田小学校、倉梯小学 校、志楽小学校、新舞鶴小学校、高野小学校、中筋小学校、中舞 鶴小学校、福井小学校、三笠小学校、明倫小学校、由良川小学 校、吉原小学校、与保呂小学校</p> <p>視察:中丹教育局 6人</p>	舞鶴市商工 観光センター コンベンション ホール

平成28年度 乳幼児教育コーディネーター・乳幼児教育相談員・特別支援教育相談員 訪問一覧

実施日	講演会・研修会名	訪問先	参加人数	
平成28年	6月6日(月)	公開保育に向けた園内研修	舞鶴幼稚園(公立)	5
	7月27日(水)	乳幼児教育の質の向上研修 【保幼小連携】公開校園勉強会①	中舞鶴小学校	8
	8月26日(金)	公開保育に向けた園内研修	うみべのもり保育所(公立)	10
	9月6日(火)	乳幼児教育の質の向上研修 【子どもを主体とした保育】公開園勉強会①		16
	9月9日(金)	公開保育に向けた保育内容・指導案等の協議	うみべのもり保育所(公立)	30
	10月4日(火)	乳幼児教育の質の向上研修 【子どもを主体とした保育】公開園勉強会②		12
	10月6日(木)	乳幼児教育の質の向上研修 【保幼小連携】公開校園勉強会②	中舞鶴小学校	6
	10月7日(金)	公開保育に向けた保育内容・指導案等の協議	さくら保育園(私立)	10
	10月12日(水)	公開保育に向けた保育内容・指導案等の協議	タンポポハウス(私立)	8
	10月26日(水)	公開保育に向けた保育内容・指導案等の協議	さくら保育園(私立)	10
	10月26日(水)	保育内容・指導案等の協議	西乳児保育所(公立)	3
	10月27日(木)	乳幼児教育の質の向上研修 【保幼小連携】公開校園勉強会③	中舞鶴小学校	6
	11月8日(火)	保育見学・カンファレンス	中保育所(公立)	3
	11月22日(火)	園内研修(保育見学・カンファレンス)	池内幼稚園(私立)	4
	12月9日(金)	園内研修(保育見学・カンファレンス)	池内幼稚園(私立)	4
	12月13日(火)	公開保育後の振り返り・聞き取り	朝来幼稚園(私立)	3
	12月14日(水)	公開保育後の振り返り・聞き取り	さくら保育園(私立)	12
12月21日(水)	公開保育後の振り返り・聞き取り	舞鶴幼稚園(公立)	8	
12月27日(火)	公開保育後の振り返り・聞き取り	うみべのもり保育所(公立)	12	
平成29年	1月6日(金)	公開保育後の振り返り・聞き取り	タンポポハウス(私立)	9
	1月20日(金)	園内研修(ドキュメンテーションを使ったグループワーク)、 報告会発表内容協議	さくら保育園(私立)	16
	1月30日(月)	報告会発表内容協議	朝来幼稚園(私立)	3
	1月31日(火)	報告会発表内容協議	タンポポハウス(私立)	2
平成28年	5月30日(月)	園巡回(発達支援)	平保育園(私立)	3~5
	6月13日(月)	園巡回(発達支援)	池内幼稚園(私立)	3~5
	6月16日(木)	園巡回(発達支援)	倉梯幼稚園(私立)	3~5
	6月20日(月)	園巡回(発達支援)	倉梯幼稚園(私立)	3~5
	6月23日(木)	園巡回(発達支援)	志楽幼稚園(私立)	3~5
	6月27日(月)	園巡回(発達支援)	倉梯幼稚園(私立)	3~5
	6月28日(火)	園巡回(発達支援)	池内幼稚園(私立)	3~5
	6月29日(水)	園巡回(発達支援)	中舞鶴幼稚園(私立)	3~5
	6月30日(木)	園巡回(発達支援)	池内幼稚園(私立)	3~5
	7月4日(月)	園巡回(発達支援)	橘幼稚園(私立)	3~5
	7月7日(木)	園巡回(発達支援)	池内幼稚園(私立)	3~5
	7月12日(火)	園巡回(発達支援)	池内幼稚園(私立)	3~5
	7月19日(火)	園巡回(発達支援)	永福保育園(私立)	3~5
	7月21日(木)	園巡回(発達支援)	中保育所(公立)	3~5
	7月22日(金)	園巡回(発達支援)	八雲保育園(私立)	3~5
	8月2日(火)	園巡回(発達支援)	中保育所(公立)	3~5
	8月4日(木)	園巡回(発達支援)	うみべのもり保育所(公立)	3~5
	11月7日(月)	園巡回(発達支援)	朝来幼稚園(私立)	3~5
	11月18日(金)	園巡回(発達支援)	シオン幼稚園(私立)	3~5
	11月28日(月)	園巡回(発達支援)	昭光保育園(私立)	3~5
	11月29日(火)	園巡回(発達支援)	平保育園(私立)	3~5
	8月25日(木)	園巡回(ソーシャルスキルを育む実践プログラム 事業説明)	倉梯幼稚園(私立)	3~5
	11月8日(火)	園巡回(ソーシャルスキルを育む実践プログラム 保育見学)	倉梯幼稚園(私立)	3~5
11月30日(水)	園巡回(ソーシャルスキルを育む実践プログラム 事前園内研修)	倉梯幼稚園(私立)	10	
12月5日(月)	園巡回(ソーシャルスキルを育む実践プログラム 事前打合せ)	倉梯幼稚園(私立)	3~5	
12月15日(木)	園巡回(ソーシャルスキルを育む実践プログラム 実施)	倉梯幼稚園(私立)	3~5	
平成29年	1月16日(月)	園巡回(ソーシャルスキルを育む実践プログラム 実施)	倉梯幼稚園(私立)	3~5
	3月14日(火)	園巡回(ソーシャルスキルを育む実践プログラム 振り返り)	倉梯幼稚園(私立)	3~5